

# 令和元年度全道ホームヘルプサービス研究大会 開催要綱

主催：北海道ホームヘルプサービス協議会 / 後援：北海道（予定）

- 1 趣 旨 団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、高齢者の尊厳保持と自立生活への支援を目的に、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムのより一層の推進に向けて、ホームヘルプサービスには大きな期待が寄せられており、ますます重要になってきます。一方で、各事業所では、深刻な人材不足など経営課題が山積しています。
- そこで、本研究大会では、ホームヘルプサービスの実態を知り、国の動向から今後の訪問介護について考えるとともに、在宅介護の現場でより良いサービスを展開するために必要な技術と知識の向上を図ることを目的に開催します。

- 2 と き 令和元年7月11日（木） 14:00～16:20（受付13:10）  
令和元年7月12日（金） 9:15～11:50

- 3 と ころ 北海道第2水産ビル 8階 8A会議室 他  
（札幌市中央区北3条西7丁目 TEL：011-281-2071）

- 4 参加定員 200名  
※申し込み多数の場合は、ホームヘルプサービス協議会会員を優先させていただきます。

- 5 参加費 ・北海道ホームヘルプサービス協議会会員・準会員 3,000円  
・上記以外の方 6,000円  
※参加費は当日受付でお支払い願います。

- 6 日 程

	13:10	14:00	14:10	14:40	14:50	16:20	16:30	17:30
7月11日 (1日目)	受付	開 会	説 明	休 憩	講 演	休 憩	総 会 (会員のみのみ)	
9:15	11:45	11:50						
12日 (2日目)	分科会	閉 会						

- 7 内 容〔1日目：7月11日（木）〕

14:00～ 14:10	(1) 開 会 (10分) 開会挨拶 北海道ホームヘルプサービス協議会 会長
14:10～ 14:40	(2) 説 明 「北海道における在宅介護の現状～平成30年度ホームヘルプサービス実態調査から見たもの」  北海道ホームヘルプサービス協議会では、昨年度、平成30年4月の介護報酬改定及び介護保険法改正における事業所への影響を調査しました。その調査結果から見てきた北海道における訪問介護事業所の経営状況や課題について報告します。  講師：山崎 加代子 氏 (北海道ホームヘルプサービス協議会 制度推進委員会委員長/株式会社シムス 専務取締役)
14:50～ 16:20	(3) 講 演 「特定処遇改善加算の取り方～消費税増税に伴う影響と今後の訪問介護事業所の経営の在り方について」  今後の訪問介護業界を考える上で、慢性的な人材不足と職員の定着が問題となっています。改善策として、職員の労働安定のために、今年度より導入されている働き方改革や、10月に予定されている消費税率引き上げに伴い導入される特定処遇改善加算を取得する方法等を学び、今後の訪問介護事業の方向性について考えます。  講師：伊藤 亜記 氏 (株式会社ねこの手 代表取締役)

[2日目：7月12日（金）]

(4) 分科会 (9:15～11:45) 【選択制】

<b>第1分科会</b>	<p><b>講義・演習「定期巡回・随時対応型訪問介護看護の实地指導と計画書の立て方について」</b></p> <p>定期巡回・随時対応型訪問介護看護の实地指導に備え、改めて法令を理解し、事業所として書類の見直しや整備をすることで、实地指導対策からより良いケアへと繋げることが大切です。 また、看護職と情報を共有し、共通認識の中でアセスメントや計画書の作成の仕方等を学びます。</p> <p>講師：下村 和枝 氏（社会福祉法人ノテ福祉会 24ヶアステーションノテ真栄 管理者）</p>
<b>第2分科会</b>	<p><b>講義「多職種連携におけるターミナルケア・心構えについて」</b></p> <p>医療と介護の多職種連携におけるターミナル期（終末期）については、医療的な処置（緩和治療）に加え、精神的な側面を重視した総合的な関わりが大切になってきます。 そのため、ターミナルケアの視点とチームアプローチについて考えるとともに、職員の心構え等について学びます。</p> <p>講師：森 明恵 氏（来夢ライン訪問看護ステーション 所長）</p>
<b>第3分科会</b>	<p><b>講義・演習「訪問介護における自立支援のとらえ方～ケアプランやアセスメントの読み解き方～」</b></p> <p>介護保険を基に、自立支援とは何か考えるとともに、利用者の身体機能等の維持を図りつつ本人らしい生活を送るためには、どのようなサービス提供が必要なのか学びます。 また、利用者からの要求（デマンド）に合わせて、必要なサービスの選択の仕方についても考えます。 演習では、根拠を持ってサービス提供を行うために、ケアプランやアセスメントの読み解き方についても学びます。</p> <p>講師：佐々木 薫（社会福祉法人刀圭会 ヘルパーステーション向日葵 管理者 ／北海道ホームヘルプサービス協議会 会長）</p>

(5) 閉会 (11:45～11:50) 分科会ごとに閉会

8 その他

1日目のプログラムの「講演」終了後、令和元年度北海道ホームヘルプサービス協議会代議員総会を開催します。なお、総会につきましては、別途会員事業所あてに御案内します。

9 参加申込みについて

別添く参加申込書兼アンケート>に必要事項を御記入の上、**令和元年7月5日（金）【必着】**までに下記あてに、FAXにてお申し込みください。（尚、定員になり次第締め切りとさせていただきます。参加をお断りする場合もしくは希望の分科会を変更して頂く必要がある場合のみ、お電話等にて御連絡いたしますので、予め御了承ください。）

**北海道ホームヘルプサービス協議会 事務局**

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2. 7 2階  
北海道社会福祉協議会・地域福祉部地域福祉課内（担当：寺井・三上）  
Tel 011-241-3977 Fax 011-271-3956